

# 令和4年度青森県原子力防災訓練

11月17日、青森県・東通村・関係周辺市町村の共催により、東北電力(株)東通原子力発電所1号機を対象として、原子力防災体制の確立、防災関係機関の緊急時対応能力向上を目的とし、原子力防災訓練を実施しました。

訓練には、小田野沢、老部、白糠地区から計20名の住民の皆さんを含め、約80機関、約970名が参加し、様々な訓練を実施しました（主な訓練項目は囲み）。

これらの訓練のうち、住民防護措置訓練（陸路避難）では、野辺地町中央公民館（青森市内の避難所と想定）へバスにより避難し、避難の途中では、安定ヨウ素剤の緊急配布（バス車内配布・施設内配布・ドライブスルーの3形式）、避難所では、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、検温・手指の消毒・健康確認を行うとともに、発熱者とエリアを分けるなど感染症流行下での対応手順を確認したほか、段ボールベッドの組み立て等を体験しました。

ご参加いただいた住民の皆さんは、原子力災害時の行動等を確認しながら、真剣に取り組んでいました。

村は、原子力防災対策に万全を期すため、関係機関と連携し、今後も定期的に訓練を実施していきます。

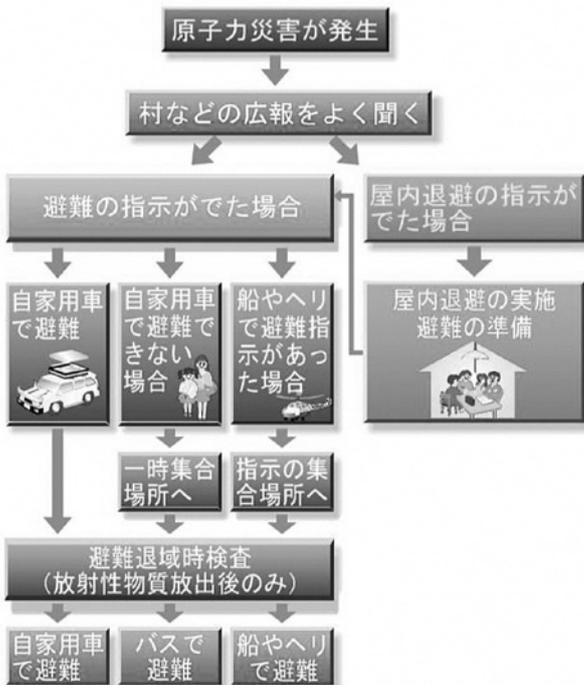
ご協力ありがとうございました。

原子力防災対策や避難などについては、配布済みの「原子力防災対策ガイドブック」や原子力ホームページをご覧ください。（<https://www.atom-higashidoori.jp/>）

## 主な訓練項目

- ・東通村災害対策本部運営訓練
- ・住民防護措置訓練（陸路避難）
- ・安定ヨウ素剤緊急配布訓練
- ・避難行動要支援者搬送訓練
- ・孤立地域からの住民搬送訓練
- ・情報伝達訓練
- ・避難所開設運営訓練
- ・物資搬送訓練
- ・映像伝送訓練

## 原子力災害時の行動手順



### 【注意】

複合災害時は、自然災害からの身の安全の確保が優先

## 各訓練の様子

